農林水産省　平成26年度　委託プロジェクト研究

気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト

研究成果発表会

地球温暖化の中で森林を活かす

地球規模で進む温暖化により森林の諸機能の低下が懸念されています。一方、森林には温暖化の原因である二酸化炭素の吸収による温暖化緩和への貢献が期待されています。農林水産省では、温暖化への適応策と緩和策のための研究と技術開発を強化してきました。その成果を紹介し、今後を展望します。

日時　2014年 **11月11日(火)**
13:30～16:45

会場　**東京大学 弥生講堂 一条ホール**
交通案内：東京メトロ　東大前駅（南北線）徒歩1分
根津駅（千代田線）徒歩8分

主催　独立行政法人　森林総合研究所
農林水産省　農林水産技術会議事務局

参加費無料
事前登録不要

13:30	開　会
13:45～14:15	森林分野のCO_2吸排出量の将来予測と緩和策 森林総合研究所 研究コーディネータ　松本光朗
14:15～14:45	森林への影響と適応策　～植生、災害、病虫害～ 森林総合研究所 研究コーディネータ　高橋正通
14:45～15:15	発展途上国における森林減少・劣化を防ぐために 森林総合研究所 資源解析研究室長　鷹尾　元
15:45～16:45	パネルディスカッション 森川　靖（早稲田大学）、奥田敏統（広島大学）、露木　聡（東京大学）、松本光朗、高橋正通、鷹尾　元（森林総合研究所）
16:45	閉　会
ポスター発表	13:00～13:30、15:15～15:45、16:45～17:15